

産業建設 常任委員会



代表質問者
岸野 雅人



外国人観光客の受け 入れ環境整備

Q 課題と施策は。

A 主に二次交通や夕食漂流者問題や、外国語対応人材、労働力不足、ガイド情報提供。

宿泊税の導入

Q 観光特化の目的と使い道、明確な説明を。税率・徴収対象・導入時期等、協議状況は。

A 使途は観光振興計画に基づく事業。税率は改めて判断。徴収対象は民泊などを含む宿泊施設。導入時期は1年先送りし、令和9年度以降。進め方の協議が進んでいる。

移住者の定着状況

Q 移住者の居住率、就職率、Uターン割合は。関連し企業誘致の失敗に「反省はない」だったが、所信はどうか。

A 個人情報保護、追跡調査はしていない。ただし補助金返還者はない。

内訳では49名中Uターン者は4名。起業支援補助金の6名は事業継続中。引き続き企業誘致を進めたい。

行財政運営の健全化

Q 見直しの具体的構想や方向例が示されなければ伝わらない。事業と施設、どう強化と縮小をするのか。

A 財政運営指針は、必ずしも見直しありきではない。持続可能な業財政運営と公共サービスの充実を実現して行きたい。

「はじめに」と「おわりに」

Q 挑戦するのだが、取り戻すのか、よくわからない。解説を求める。

A 始めにと終わりにはいずれも、未来に向けた取り組みと挑戦を通じて、湯沢の魅力と活力を再生しさらに高め、次世代へつなげていくという共通の思い。



バリアフリー化計画

Q 高齢者が元気でいきいきと交流・活動できるように助成事業や高齢者団体への支援はしていくようだが、町内施設のバリアフリー化への今後の計画はどうか。

A 新たなものはないが、住宅・事業所バリアフリー化や介護住宅改修等の支援は引き続き行う。

経営強化プラン

Q 湯沢病院の地域包括ケア病棟の稼働率が低調であるが、どのように改善していくか。「町立湯沢病院経営強化プラン」に基づき必要な変更

を行うという内容を伺う。

A 町として地域包括ケア病棟への理解を周知広報し、広めていく経営強化プランは令和6年～9年の4年間とし策定した。現状は厳しい。収益増と経費削減を行っていききたい。

個別避難計画

Q 高齢者及び障がい者の避難誘導等、有事の際の新たな方策の検討はなされているか。

A 要支援者の名簿作成、個別避難計画など実行性のある方策を進めている。

